

ユーザの嗜好に基づくレシピデータの学習クラスタリング

公立はこだて未来大学 佐藤仁樹研究室

目的

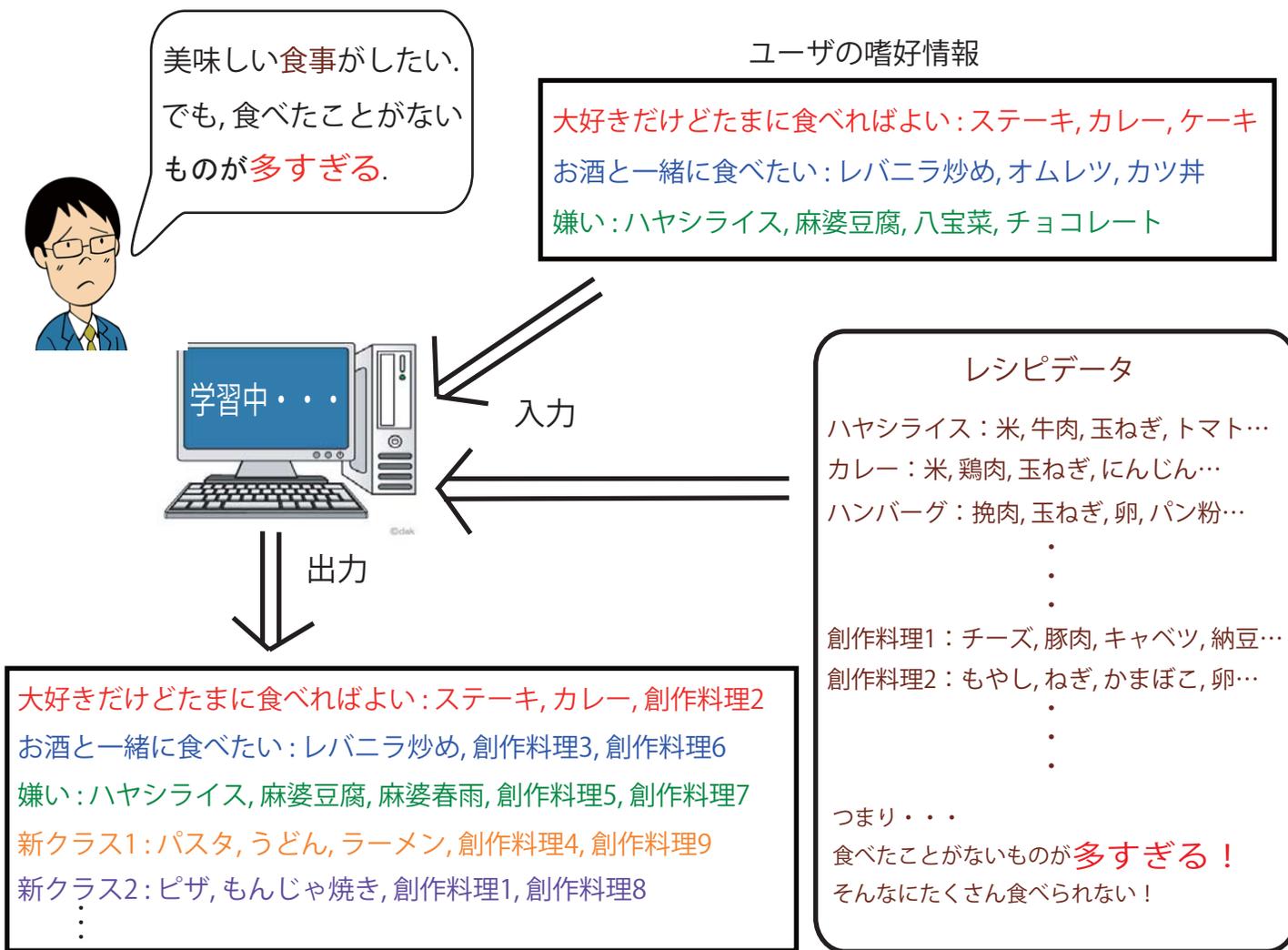
様々な食品をユーザの嗜好情報を基に分類し、従来は認知されていなかった新たな知見を得る。更はその知見を生かし、新しい味の世界を構築する。

問題点

従来の統計的類似度を用いた方法では、ユーザの意図するクラスター構成が得られない。

解決策

- ・ユーザの嗜好情報を反映した学習データを作成する。
- ・学習データを基にクラスタリングアルゴリズムのパラメータを調節する。



本システムは以下の2つのアルゴリズムによって成り立っている。

Algorithm1. 学習

1. 初期値の設定
2. 学習用データの変換 (SOM 及び関数近似)
3. 学習用データのクラスタリング
4. クラスター数精度の計算及びクラスター数パラメータの調整
5. クラスタリング精度の計算
6. 最適なパラメータの探索が完了したならば終了。
そうでなければパラメータを調節し、ステップ2へ戻る。

Algorithm2. 評価

1. 評価用データの変換
2. 評価用データのクラスタリング
3. クラスタリング結果の分析

